

⑧地域ネットワークが支える子供のチャレンジ（西予市野村地区）

社会教育の専門性を、こんな課題に…

- # 地域の人たちどうしのつながりを深めたい
- # いろいろな人たちを地域の活動にまきこみたい
- # 地域での学びを充実させたい
- # 体験を通した豊かな学びを子供たちに味わわせたい

取組のポイント

- ①公民館において、子供たちが様々な体験や学びができる場を企画・実施。
館だよりやSNS等で丁寧に発信することで、**各方面とのタイアップが実現**。
- ②各小学校区ごとに設置されている地域づくり組織に教育委員会社会教育主事や公民館職員、市の首長部局職員等が参画。次世代の地域の担い手育成のため**社会教育主事講習の受講機会を積極的に活用**するとともに、ネットワークの構築に寄与。

取組の様子 ・ 成果等

- ・体験的教育プログラム「のむらチャレンジ隊」と域内の商店や農業協力者、市観光部局などの**さまざまなタイアップが実現**。子供たち自身の企画立案による取組や卒業生の発展的活動にも進展。
- ・構築された地域ネットワークが災害発生時等の**有事においても活かされた**。

地域総がかりで子供たちを育む環境醸成（愛媛県西予市野村地区）

社会教育主事の配置状況等

愛媛県西予市 人口：約38,000人
 西予市職員約560人のうち、社会教育主事有資格者31名。（うち2名発令）
 30歳前後の市職員を公民館主事に配属し、積極的に社会教育主事講習に派遣。

取組の概要と特長

社会教育主事講習を受講した公民館主事が、身につけた社会教育に関する体系的な知識等の専門性や他地域のさまざまな事例等を参考に、自治体の社会教育主事と連携。新たに子供たち向けの体験的教育プログラム「**のむらチャレンジ隊**」をスタートさせた。館だよりやSNS等での発信の積み重ね等をきっかけとして、**地域内外の多様な主体が関わる活動に発展**。地域ネットワークの深まりに寄与した。

様々な主体との連携による取組の充実～「のむらチャレンジ隊」

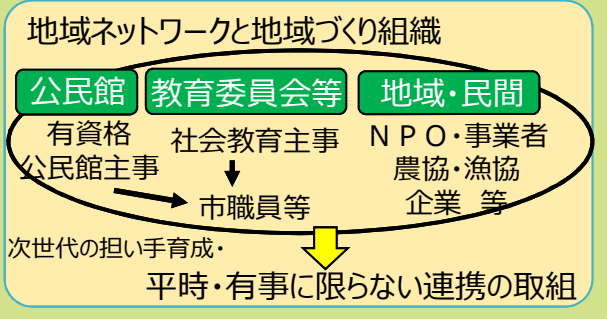
多様な体験、学習活動を通して、子供たちの健全育成につなげていく活動として開始。**館だよりやSNS等での丁寧な発信が各方面からのタイアップ依頼につながる**ようになり、様々な企画が展開。その後も、**子供たちが自ら企画立案し、より主体的に活動を進めていけるよう**プログラム内容の工夫や中高生による活動「N-ジオチャレ」等を展開。



- ### 【「のむらチャレンジ隊」のタイアップ先と活動・さらなる展開】
- 漁協「鮎つかみ取り」・ 域内の各商店「はんこづくり」「ケーキづくり」
 - 他地区公民館「陶芸体験」・ 食品開発グループ「マヨネーズづくり」
 - 農業協力者「ジャガイモ・さつまいもほり」・ 市観光部局「ジオサイクリング」
 - 域内の神社「“まつり”としての田植え～もちつき」 … 等
 - “軽トラ市”への参加（体験による収穫から製品化・販売の工夫）
 - ジオパークを活用した地域づくり（中高生によるスタッフ参加等）

地域ネットワークが発揮する力～平成30年7月豪雨災害時の対応等

野村地域も被災し、避難所が開設された。予定されていた夏休みのイベントや行事は中止となったが、有資格公民館主事や社会教育主事が中心となって構築してきた地域ネットワークが活かされ、NPOや民間企業等と連携した子供たち向けの教育プログラムが実施されるなど、**災害時においても地域資源を最大限活用した取組が進められた**。また、小学校区ごとに設置されている地域づくり組織にも社会教育主事有資格者が参加し、次世代を担うメンバーの育成やネットワークづくりを進めている。



企業による教育プログラム